

鏑木清方と鰭崎英朋

近代文学を彩る口絵
朝日智雄コレクション

【会期】 2021年5月21日(金)～6月20日(日)

※ 本展は、昨年3月、新型コロナウイルス感染拡大防止のために中断となった展覧会の再開催です。

※ リストの番号は展覧会図録の番号と一致しています。作品の展示順とはかならずしも一致しません。予めご了承下さい。

※ 展示スケジュールは、作品の状態、その他やむを得ぬ事情により、変更されることがあります。

太田記念美術館

No.	絵師名	作品名	判型・技法	年代
1	鏑木清方	泉鏡花・著『三枚続』口絵	木版	明治35年(1902)1月
2	鏑木清方	小栗風葉・谷活東・著『恋女房』口絵	木版	明治35年(1902)7月
3	鏑木清方	泉鏡花・著『田毎かゞみ』口絵	木版	明治36年(1903)1月
4	鏑木清方	「花吹雪」(『文芸倶楽部』第9巻第5号 口絵)	木版	明治36年(1903)4月
5	鏑木清方	松居松葉・著『一夜画工』口絵	木版	明治36年(1903)7月
6	鏑木清方	泉鏡花・著『風流線』口絵	木版	明治37年(1904)12月
7	鏑木清方	小杉天外・著『にせ紫』後編 口絵	木版	明治38年(1905)9月
8	鏑木清方	江見水蔭・著『二人女王』口絵	木版	明治39年(1906)1月
9	鏑木清方	「白鳥」(『文芸倶楽部』第12巻第7号 口絵)	木版	明治39年(1906)5月
10	鏑木清方	泉鏡花・著『無憂樹』口絵	木版	明治39年(1906)6月
11	鏑木清方	「こほろぎ」(『文芸倶楽部』第12巻第12号 口絵)	木版	明治39年(1906)9月
12	鏑木清方	「五月雨」(『今様』夏衣の巻 口絵)	木版	明治45年(1912)5月
13	鏑木清方	渡辺霞亭・著『渦巻』上編 口絵	木版	大正2年(1913)10月
14	鏑木清方	菊池幽芳・著『百合子』中編 口絵	木版	大正2年(1913)10月
15	鏑木清方	菊池幽芳・著『百合子』後編 口絵	木版	大正2年(1913)12月
16	鏑木清方	菊池幽芳・著『秘中の秘』前編 口絵	木版	大正2年(1913)12月
17	鏑木清方	「爪紅」(『文芸倶楽部』第20巻第4号 口絵)	木版	大正3年(1914)3月
18	鏑木清方	大江素天・著『忘れがたみ』口絵	木版	大正3年(1914)11月
19	鏑木清方	菊池幽芳・著『小ゆき』後編 口絵	木版	大正4年(1915)6月
20	鏑木清方	菊池幽芳・著『小ゆき』続編 口絵	木版	大正4年(1915)8月
21	鰭崎英朋	半井桃水・著『写絵』口絵	木版	明治36年(1903)7月
22	鰭崎英朋	柳川春葉・著『いささ川』口絵	木版	明治38年(1905)4月
23	鰭崎英朋	泉鏡花・著『続風流線』口絵	木版	明治38年(1905)8月
24	鰭崎英朋	後藤宙外・著『月に立つ影』前編 口絵	木版	明治39年(1906)8月
25	鰭崎英朋	後藤宙外・著『月に立つ影』前編 口絵さしあげ	校合摺に着色	明治39年(1906)
26	鰭崎英朋	後藤宙外・著『月に立つ影』続編 口絵	木版	明治41年(1908)10月
27	鰭崎英朋	泉斜汀・著・泉鏡花・補筆『深川染』前編 口絵	木版	明治40年(1907)4月
28	鰭崎英朋	後藤宙外・著『思ひざめ』口絵	木版	明治40年(1907)11月
29	鰭崎英朋	泉鏡花・著『婦系図』前編 口絵	木版	明治41年(1908)2月
30	鏑木清方 鰭崎英朋	泉鏡花・著『婦系図』前編 口絵	木版	明治41年(1908)2月
31	鏑木清方 鰭崎英朋	泉鏡花・著『婦系図』後編 口絵	木版	明治41年(1908)6月
32	鰭崎英朋	泉鏡花・著『婦系図』後編 口絵	木版	明治41年(1908)6月
33	鰭崎英朋	後藤宙外・著『裾野』前編 口絵	木版	明治42年(1909)1月
34	鰭崎英朋	柳川春葉・著『登音』口絵	木版	明治42年(1909)6月
35	鰭崎英朋	後藤宙外・著『盲闘』口絵	木版	明治44年(1911)7月
36	鰭崎英朋	「香汗淋漓」(『新婦人』明治44年9月号 口絵)	石版	明治44年(1911)9月
37	鰭崎英朋	「有明」(『新婦人』明治45年5月号 口絵)	石版	明治45年(1912)5月
38	鰭崎英朋	柳川春葉・著『生さぬなか』前巻 口絵	木版	大正2年(1913)2月
39	鰭崎英朋	柳川春葉・著『生さぬなか』中巻 口絵	木版	大正2年(1913)3月
40	鰭崎英朋	柳川春葉・著『生さぬなか』下巻 口絵	木版	大正2年(1913)5月
41	鰭崎英朋	柳川春葉・著『生さぬなか』後編 口絵	木版	大正2年(1913)5月
42	鰭崎英朋	柳川春葉・著『生さぬなか』中巻 挿絵原画	紙本墨画	大正2年(1913)
43	鰭崎英朋	柳川春葉・著『生さぬなか』後編 挿絵原画	紙本墨画	大正2年(1913)
44	鰭崎英朋	「梅の窓」(『文芸倶楽部』第20巻第3号 口絵)	木版	大正3年(1914)2月
45	鰭崎英朋	柳川春葉・著『かたおもひ』三巻 口絵	木版	大正3年(1914)6月
46	鰭崎英朋	柳川春葉・著『かたおもひ』四巻 口絵	木版	大正3年(1914)9月
47	鰭崎英朋	「横櫛おとみ」(『娯楽世界』大正3年10月号 口絵)	木版	大正3年(1914)10月
48	鰭崎英朋	「きぬずれ」(『文芸倶楽部』大正3年10月増刊号 口絵)	石版	大正3年(1914)10月
49	鰭崎英朋	柳川春葉・著『疑』前編 口絵	木版	大正4年(1915)1月

50	鯨崎英朋	柳川春葉・著『誓』前編 口絵	木版	大正4年(1915)6月
51	鯨崎英朋	柳川春葉・著『誓』中編 口絵	木版	大正6年(1917)4月
52	鯨崎英朋	柳川春葉・著『誓』後編 口絵	木版	大正6年(1917)6月
53	鯨崎英朋	『うた姿』口絵	木版	大正5年(1916)5月
54	鯨崎英朋	秋の声(『婦女界』大正9年9月号 表紙原画)	絹本着色	大正9年(1920)
55	鯨崎英朋	鶴の屏風と美人	木版	不明
56	水野年方	条野採菊・著『百物語』口絵	木版	明治27年(1894)7月
57	水野年方	宇田川文海・著『明治文庫』第十四編 口絵	木版	明治27年(1894)7月
58	水野年方	泉鏡花・著「外科室」(『文芸倶楽部』第1巻第6編)口絵	木版	明治28年(1895)6月
59	水野年方	尾崎紅葉・編『五調子』口絵	木版	明治28年(1895)12月
60	水野年方	川上眉山・著『大村少尉』口絵	木版	明治29年(1896)5月
61	水野年方	広津柳浪・著『段だら染』口絵	木版	明治29年(1896)12月
62	水野年方	村上浪六・著『黒田健次』続編 口絵	木版	明治30年(1897)11月
63	水野年方	江見水蔭・著「船長の妻」(『文芸倶楽部』第5巻第9編)口絵	木版	明治32年(1899)7月
64	水野年方	長野楽水・編/村井弦斎・閲『夜の風』口絵	木版	明治32年(1899)7月
65	水野年方	小栗風葉・著『恋慕ながし』口絵	木版	明治33年(1900)5月
66	水野年方	末広鉄腸・著『落葉のはき寄せ』口絵	木版	明治33年(1900)6月
67	水野年方	三宅青軒・著「寂光院」(『文芸倶楽部』第7巻第13号)口絵	木版	明治34年(1901)10月
68	水野年方	村上浪六・著『当世五人男のうち 倉橋幸蔵』続編 口絵	木版	明治35年(1902)11月
69	水野年方	菊池幽芳・著『若き妻』後編 口絵	木版	明治35年(1902)11月
70	武内桂舟	堀内旭松・著『谷中の恋塚』口絵	木版	明治26年(1893)5月
71	武内桂舟	石橋思案・著『明治文庫』第十二編 口絵	木版	明治27年(1894)6月
72	武内桂舟	尾崎紅葉・著『隣の女』口絵	木版	明治27年(1894)6月
73	武内桂舟	大橋又太郎・編『実用料理法』(『日用百科全書』第三編)口絵	木版	明治28年(1895)7月
74	武内桂舟	江見水蔭・著『水車』口絵	木版	明治28年(1895)8月
75	武内桂舟	「月下之美人」(『文芸倶楽部』第2巻第7編 口絵)	木版	明治29年(1896)6月
76	武内桂舟	「美人撲螢」(『文芸倶楽部』第3巻第10編 口絵)	木版	明治30年(1897)7月
77	武内桂舟	「佳人読書」(『文芸倶楽部』第3巻第11編 口絵)	木版	明治30年(1898)8月
78	武内桂舟	江見水蔭・著「落花録」(『文芸倶楽部』第7巻第5号)口絵	木版	明治34年(1901)4月
79	武内桂舟	後藤宙外・著『めぐる泡』口絵	木版	明治35年(1902)5月
80	武内桂舟	「看護婦」(『文芸倶楽部』第10巻第6号 口絵)	木版	明治37年(1904)4月
81	武内桂舟	「花ぐもり」(『文芸倶楽部』第11巻第6号 口絵)	木版	明治38年(1905)4月
82	武内桂舟	「ちらちら」(『文芸倶楽部』第17巻第3号 口絵)	木版	明治44年(1911)2月
83	武内桂舟	「麻だすき」(『文芸倶楽部』第18巻第9号 口絵)	木版	明治45年(1912)7月
84	富岡永洗	黒岩涙香・訳『人の運』前編 口絵	木版	明治27年(1894)1月
85	富岡永洗	尾崎紅葉・著『心の闇』口絵	木版	明治27年(1894)5月
86	富岡永洗	黒岩涙香・訳『捨小舟』上編 口絵	木版	明治28年(1895)8月
87	富岡永洗	尾崎紅葉・著『冷熱』口絵	木版	明治29年(1896)4月
88	富岡永洗	黒岩涙香・訳『女退治』口絵	木版	明治29年(1896)7月
89	富岡永洗	江見水蔭・著『鎌わぬ坊』口絵	木版	明治29年(1896)10月
90	富岡永洗	黒岩涙香・訳『女庭訓』口絵	木版	明治29年(1896)11月
91	富岡永洗	幸田露伴・著『ひげ男』口絵	木版	明治29年(1896)12月
92	富岡永洗	水谷不倒・著『枯野の真葛』口絵	木版	明治30年(1897)8月
93	富岡永洗	黒岩涙香・著『武士道』上編 口絵	木版	明治30年(1897)12月
94	富岡永洗	後藤宙外・著『新機軸』口絵	木版	明治31年(1898)12月
95	富岡永洗	前田曙山・著『にごり水』口絵	木版	明治32年(1899)10月
96	富岡永洗	幸田露伴・田村松魚・著『もつれ糸』口絵	木版	明治35年(1902)2月
97	富岡永洗	地図を眺める美人と象	木版	不明
98	梶田半古	江見水蔭・著『海底の錨』口絵	木版	明治29年(1896)3月
99	梶田半古	江見水蔭・著「唐櫃山」(『文芸倶楽部』第6巻第9編)口絵	木版	明治33年(1900)7月
100	梶田半古	小栗風葉・著『心中くらべ』口絵	木版	明治35年(1902)7月
101	梶田半古	五来素川・訳『未だ見ぬ親』口絵	木版	明治36年(1903)7月
102	梶田半古	山岸荷葉・著『失恋境』口絵	木版	明治36年(1903)12月
103	梶田半古	小栗風葉・著『青春』春之巻 口絵	木版	明治38年(1905)10月
104	梶田半古	小栗風葉・著『青春』夏之巻 口絵	木版	明治39年(1906)1月
105	梶田半古	小栗風葉・著『青春』夏之巻 口絵さしあげ	校合摺に着色	明治38-39年(1905-06)
106	梶田半古	小栗風葉・著『青春』秋之巻 口絵	木版	明治39年(1906)11月
107	梶田半古	「菊のかをり」(『文芸倶楽部』第11巻第13号 口絵)	木版	明治38年(1905)10月
108	梶田半古	「懸想文」(『文芸倶楽部』第12巻第2号 口絵)	木版	明治39年(1906)1月
109	梶田半古	「うたたね」(『文芸倶楽部』第12巻第9号 口絵)	木版	明治39年(1906)7月
110	梶田半古	「実る秋」(『文芸倶楽部』第12巻第15号 口絵)	木版	明治39年(1906)11月
111	梶田半古	「暗香疎影」(『文芸倶楽部』第13巻第3号 口絵)	木版	明治40年(1907)2月

